



大阪狭山市のマスコット

さやりん

市民のみなさんから寄せられた活動を中心に紹介しています。

大阪狭山市市民活動支援センター情報誌

News Letter Express

VOL.57

2019年9月



目次	P
第15期まちづくり大学いよいよ開講	1
しみんのちから登録団体紹介	1
第5回さやりんフェスティバルほか	2
チラシ講座ほか	3
さやか観光会ほか	4
市民団体のつどいほか	5
情報ステーション	6

第15期まちづくり大学いよいよ開講

2007年度から始まった「まちづくり大学」の第15期が9月7日(土)から始まります。

市民と行政が協働してまちづくりを進めるためには、それぞれの置かれている現状や立場の違いについて共通の認識を持つことが出発点になります。そのために行政職員が市の課題と現状について直接市民に語り、相互の現状認識の相違やずれを共有することで、「大阪狭山市らしい」地域課題の解決が進むことを期待して始まり、多くの修了生を送り出してきました。

近年になって、定年延長や年金をはじめとする社会制度の変化は激しく、まちづくり大学も修了要件を緩和したり、ボランティア体験や受講者主体のワーク

ショップを導入したり変化し続けています。

今期は、公開講座に春の市長選を受け新たに就任した

田中副市長を講師に迎え、複雑・多様化が進む市役所行政の現在と大阪狭山市の今後について語っていただきます。

(本号P5参照)

また、10月から11月にかけては、公益活動団体の協力で、市民活動の現場体験も予定しています。

まちづくりは、まちの現状を知るところから始まります。



「しみんのちから」登録団体NO.315 たんぽぽの丘

山本地区に障がい者の生活介護と就労支援の事業所として2013年に開設。障がい者の居場所であると同時に地域に開かれた施設として様々な活動に取り組んでいます。

昨年から、市民公益活動促進補助金を受けてインターネットラジオを活用して大阪狭山市の地域情報を広く発信する活動にも取り組んでいます。さらに、今年度からはYouTubeで「くじらチャンネル」を開設。市民の力を活用して、市内のイベントやお店情報をインターネット上で発信する事業を始めました。

スマートフォンを活用した映像の収録や編集、効果的な見せ方、BGMの挿入などの勉強会もすでに始まっています。大阪狭山

市に関する事ならなんでもオーケー。発信したい情報があれば、スタッフが

取材に飛んで行きます。また、情報を発信したいけれどやり方がわからない人も大歓迎です。

今年も「もぐらのサラダアートフェスティバル vol.4 ～もぐらまつり～」9月14日(土)開催です。(本号P4参照)

問合せ：090-6066-8576

(たんぽぽの丘/中田)



陶器山の自然



アオスジアゲハ

情報提供

あまの街道と陶器山の自然を守る会

第5回 さやりんフェスティバル



5月19日(日)正午から、SAYAKAホールを会場に「さやりんフェスティバル」が開かれました。

これは、地域で活動している団体から「ホールの舞台に立つ機会が少ない」「市民芸術祭は、参加するにはハードルが高い」などの声が上がったことを契機に、地域の文化・芸術に気軽に触れることができるように狭山中円卓会議が開いているものです。音楽・舞踊・ダンスなどの発表会と絵画・書・俳句・短歌などの作品展を合併した文化的な催しです。

校区内で活動する個人・団体に、発表の機会を提供し、多くの住民がそれらに触れる機会を提供することで、地域文化の向上・発展を目指しています。

この日の発表会は、24団体の出場があり、出演者・観覧者を含めて、子どもから高齢者まで約1,600名が参加しました。

ブラさやま 番外編「公共施設めぐり」

さやか観光会の7月のイベントは公共施設めぐりとして7月22日(月)に開催されました。

最初に訪問した施設は、24時間日夜奮闘頂いている大阪狭山市消防本部。消防車の設備の説明を受け、消火器の使い方の実習をしました。また4階の講堂で、万一衣服に火がついた際には「止まれ！ 倒れろ！ 転がれ！ 顔の前を保護する！」の動作が重要なことや、また火災時の部屋からの脱出法など、火災から身を守る具体策を習いました。

次に、市役所議会事務局を訪ね、市議会の役割について聞きました。大阪狭山市では平成25年5月から定例議会の会期を定めない通年議会が導入されていることや、議事録を作る方法が時代とともに変化してきたことなどの説明を聞きました。



最後は、「UPっぷ (あっぷっぷ)」で子育て交流広場、世代間交流広場などの利用の方法などを聞きました。この日の参加者はスタッフを含め18名でした。

ボランティア交流サロン



7月13日(土)午後1時30分から 市役所南館講堂にて当支援センター主催の「ボランティア交流サロン」を開きました。

“ボランティアでもっとつながろう”との思いを込め、自分達の活動(団体)をもっと知ってもらいたい、これから活動を考えているがキッカケはないか、活動しているがもっと知りたいと思っている方、みんなで集まり、楽しく“かたりあい”ませんか！との呼びかけに応え、スタッフを含めて30名の方が集まりました。第一部では3団体が活動紹介を行い第二部では団体間の交流を深めるために、お菓子をつまみお茶を飲みながら名刺交換をしてお互いの情報交換を行いました。交換した名刺の最多者の表彰式や、団体のボランティア活動紹介として「落語」の披露があり、和気あいあいと盛り上がりました。

チラシ講座 伝わる言葉と表現の考え方&Wordで実践



市役所南館講堂で8月3日(土)に帝塚山学院大学小幡信准教授をお招きし講演会を開きました。

「チラシには何を書くの?」「どんなデザインにしたらいいの?」と迷わないた

めには、伝わる言葉からチラシをつくり出すことが重要で、「何を言えばその課題が解決するか?」企画の考え方などについて、段階的に課題に取り組みながら講座は実践的に進められました。

翌週8月9日(金)にはシルバーアドバイザー狭山の山口政章氏を講師に、Wordによる実践的なチラシ作成講座を開催しました。

チラシ作成のフォーマット設定、レイアウトのルールなどをパワーポイントのプレゼンで進められました。講座は午後2時から5時まで、休憩を含み3時間の長丁場でしたが、参加者は真剣にパソコンに向かっていました。もともとこのカリキュラムは2日間で行う内容でしたが、1日にしたため、中身の濃い講義になりましたが大変勉強になったとの声もありました。

このふたつの講座は、「第3回チラシ大賞」関連講座として企画したものです。チラシ大賞の作品募集の詳細は本号P5を参照ください。

狭山池七夕イベント 「織姫・彦星・天の川」

7月7日(日)午前9時から午後7時30分まで狭山池にて狭山池七夕イベント「織姫・彦星・天の川」が開かれました。これは狭山池みらいプロジェクトが主催するもので、狭山池のあるまちの明日がちょこっと見える、そんな1日にしたい、また、水辺にもっと触れる機会を作ろうと開催されました。狭山池土地改良区の建物内外で、野菜の朝市やスーパーボールすくい、お茶席・弁当販売、アート展示、近大マグロの仕掛人大久保嘉洋氏の講演もあって、一日賑わいました。

5年目を迎える「水辺で乾杯!ミズベリング」も例年通り開かれました。これは、7月7日午後7時7分に全国一斉に開催されている楽しく・風流なプログラムです。狭山池の堤防を散歩する人たちの参加もあって約150名が持ち寄った飲み物で一斉に乾杯しました。



ミニワークショップ トイレットペーパーで紙粘土 を開催



8月2日(金)、市役所南館講堂で当支援センター主催のミニワークショップを開催しました。講師に小田仁美さんをお招きして、親子

で参加する「紙粘土クラフト」を実施しました。トイレットペーパーを使って紙粘土を作るところから

始め、粘土に絵具で色を付け、それぞれの作りたいものに形作っていきます。

講師の小田さんは一人ひとりの子どもに丁寧に対応してくださって、楽しい雰囲気盛り上げてくれます。トイレットペーパーをクルクル芯から外していくことや、バケツに入れて水でくちゃくちゃすること、絞ること、糊を入れてぺたぺたすること、絵具を入れて色を付けること、すべてが子どもたちにとって魅力的だったようで、小さな子どもたちも2時間の講習時間の終了ぎりぎりまで、飽きることなく熱心に作品作りに取り組んでいました。

野田城・池尻城・半田城の3城址巡り ～さやか観光会～

～南北朝時代（1336年から1392年）の頃に思いを馳せ、いにしへの狭山の城址をご一緒にあるきませんか～と、さやか観光会は9月の行事として「野田城・池尻城・半田城の3城址巡り」を企画しています。

- と き：9月18日(水) 午前9時30分～午後3時
- 集合場所：南海高野線 北野田駅 改札前
- コース：北野田駅⇒大悲寺⇒幸橋⇒野田の大橋⇒すかしゆり公園（野田城址）⇒狭山駅前⇒極楽寺⇒狭間神社⇒池尻城址⇒池尻体育館⇒狭山池⇒昼食⇒狭山池東南出入口⇒狭山神社⇒金剛駅前解散（約5.5Km）
- 参加費：200円
- 持ち物：弁当・飲み物・敷物
- 問合せ：高橋（090-1224-3505）
谷上（080-8541-7424）



野田城址

第4回もぐらのサラダアートフェスティバル もぐらまつり開催

恒例になったもぐらのサラダアートフェスティバルが今年も開催されます。

山本地区にある、障がい者施設「たんぽぽの丘」で、様々な人の作ったアート作品の展示や、アトラクション、模擬店など楽しい仕掛けがいっぱい。

どなたでも参加できます。

ごみ削減やリユースなど環境保護のための取り組みをします。おはし・スプーンなどと、手提げかばん、また靴を入れるレジ袋など（施設内は土足禁止です）をお持ちください。持参されないといそれぞれに10円かかります。

- と き：9月14日(土) 午前10時～午後3時
- ところ：たんぽぽの丘（山本中1358番地）

●内 容：

【あそびのコーナー】スーパーボール、1円玉おとし、輪投げ、おみくじなど

【はらペココーナー】焼きそば、おでん、フランクフルト、コーヒー、ポップコーンなど（有料）

【きらめきステージ】ヒーローショー、ダンス（ズンバ）、ペコちゃんステージ、コーラスなど

- 問合せ：たんぽぽの丘 TEL：289-7503



To-Villaファームで「月のまつり」開催



10月13日(日) NPO 法人南大阪サポートネット主催の「月のまつり」が開かれます。

「月のまつり」はTo-Villaファームの収穫を祝う観月祭で、To-Villaは「共に生きることを考え繋がる」とい

クショップ、おでんなどの各種屋台が出店する予定です。また、夜にミニコンサートも開きます。入場無料で、どなたでも参加できます。

このイベントは、大阪狭山市市民公益活動促進補助金の補助事業の関連で実施します。

- と き：10月13日(日) 午後3時から8時
- ところ：To-Villaファーム特設会場
To-Villa(大阪狭山市半田6丁目1179)西隣の畑
- 問合せ：南大阪サポートネット
浜治（080-4970-1179）
E-mail: minai_supnet@yahoo.co.jp

う趣旨で作られた「居場所」です。

当日は、収穫祭市場、手打ちそば屋台、陶芸ミニワー

市民団体のつどい「わくフェス」企画進行中

市民活動・ボランティアの祭典！ 第1回わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル（略称：わくフェス）開催に向けての準備を進めています。

「わくフェス」は、①市民活動団体のPRの場 ②団体同士や市民との交流の場 ③市民の方に市民活動を知っていただく場です。市民活動団体の会員や支援者がこの機会を通じてより仲間意識を強くし、輪を広げる機会になることを目的としています。



「わくフェス」には現在41団体が参加予定です。

- 名称：わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル（略称：わくフェス）
- 日時：2020年3月8日(日) 午前10時～午後4時
- 会場：大阪狭山市立公民館
- 内容：ワークショップ・ステージ・模擬店・活動紹介展示
- 共催：市民活動支援センター・大阪狭山市社会福祉協議会・大阪狭山市立公民館・大阪狭山市
- 後援：大阪狭山市教育委員会・帝塚山学院大学・大阪狭山市立図書館・ホンダ テクニカルカレッジ関西
- 問合せ：「わくフェス」事務局
(市民活動支援センター内) TEL：360-1011

第3回「チラシ大賞」作品募集

市民活動支援センターでは、「しみんのちから」登録団体が作成しエントリーされた「チラシ」の中から、広報ツールとして優れたものを選び、「チラシ大賞」として表彰しています。表彰制度を通じて、登録団体全体の広報力の向上に寄与することを目的とするものです。本年度も皆様の積極的なご応募をお待ちしています。

- 応募内容：実際に使用されているオリジナルチラシで1団体作品3点まで。団体名および開催日が明記されているもの。2019年1月以降に作成した作品
- 応募方法：作品に応募用紙をつけ、来館または郵送にて。尚、応募作品は返却できません。
- 応募締切：2020年1月31日(金) 必着
審査は2020年2月を予定しています。

- 申込み/問合せ：市民活動支援センター
TEL&FAX:366-4664
E-mail:vic@osakasayama-sc.jp



去年のグランプリ賞



同準グランプリ賞

まちづくり大学公開講座

講師 田中 斉 氏
令和元年9月14日(土)14時～15時30分
SAYAKAホール 大会議室
入場無料
申込必要(先着50名) 9月7日(土)まで

お申込み先・お問い合わせ先
大阪狭山市市民活動支援センター
電話・FAX 072-366-4664
Eメール vic@osakasayama-sc.jp

私たちを取り巻く社会環境は少子高齢化の進行、地方分権や厳しさを増す財政事情など、その様相は予想以上の速度で変化しています。「市民が出来ること」「地域が出来ること」「行政が行うこ

と」は何かを、原点に立ち戻り、福祉や環境、地域の安全安心など「大阪狭山市のまちづくり」について語っていただきます。

- と き：9月14日(土) 午後2時～3時30分
受付：午後1時30分から
- ところ：市役所南館 講堂
- 講師：大阪狭山市副市長 田中 斉 氏
- 参加費：無料
- 申込み：定員 50名 9月7日まで
- 申込み/問合せ：市民活動支援センター
TEL&FAX:366-4664
E-mail : vic@osakasayama-sc.jp



大判プリンター利用講習会のお知らせ

- と き：10月18日(金) 午後6時～8時
- ところ：市役所南館・市民活動支援センターのミーティングルーム
- 対 象：市内で活動する市民活動団体関係者
- 内 容：大判のインクジェットプリンターを使って「のぼり」用の布地（巾60センチ）に印刷する方法の講習会です
- 参加費：無料（材料費は実費）
- 定 員：10人（先着順）見学だけでも可
- 持ちもの：出力するためのデータをPDF形式で保存したUSBメモリー
- 申し込み：10月17日(木) 午後5時までにFAXかメールで参加者の名前・電話番号・メールアドレスを明記の上当支援センター FAX:366-4664 へ電子メールの場合は soumu@osakasayamasc.onmicrosoft.com 支援センターホームページからも申し込みできます。 URL:http://osakasayama-sc.jp

- 問合せ
市民活動支援センター
TEL:366-4664



ミニワークショップを開催します。

- ハロウィーンクラフト、ミニカボチャをクラフトし、花でアレンジします。そして、紙粘土で作ったミニカボチャも加えてコラボクラフト。
- と き：10月11日(金) 午後2時～3時30分
 - ところ：市役所南館 講堂
 - 参加費：300円
 - 申込み/問合せは当支援センターまで
TEL:366-4664



みなさんの活動・情報をこの紙面で紹介しませんか。

携帯電話での投稿は右QRコードでメールアドレスが登録できます。市民活動支援センターまで情報の提供をおねがいします。



編集後記

大阪狭山市市民活動支援センター

News Letter Express

発行責任者：早野 秀夫

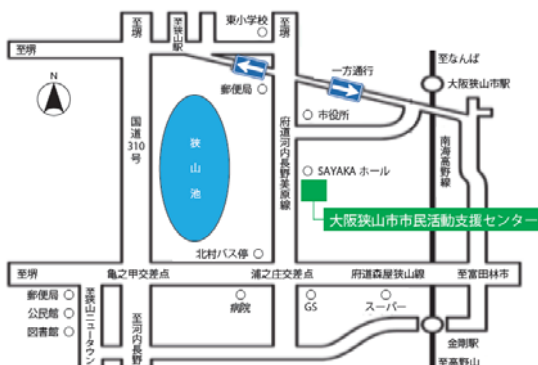
〒589-0005 大阪狭山市狭山1-862-5

☎・Fax：072-366-4664

E-mail:simin025@yacht.ocn.ne.jp

HP:http://osakasayama-sc.jp/

VIC・E-mail : vic@osakasayama-sc.jp



今年の夏は暑い、いや暑くなった。7月はまだまだ、朝夕は涼しくてエアコンを使わずこの夏は越せるのかとさえ思わせた。8月に入って俄然暑くなった。先日、歩いて10分ばかりの近くのスーパーへ買い物に行くと、いつもと身体の様子が違う。何やら気が遠くなった様に感じる。車の運転をやめて7年が過ぎ、歩いて行動する生活も身に付き、10分やそこらの歩いての行動くらい平気なはずが、今日は暑さが身体にこたえる。これは危ない、熱中症の危険がふと頭をよぎる。考えてみれば、今年の夏も暑くて世の中は騒いでいたように思う。各地で39度や40度と大騒ぎしていただではないか。今年の新聞を開いてみると、京都市中京区で39.8度、堺市堺区で39.7度、最高気温を更新などの記事が。思い起こせば、子どもの頃の夏休みなんかは、33度くらいが暑さの最高だったように記憶するが、いつから37度や38度が当たり前のようになったのだろう。来年は東京オリンピック。7月、8月の猛暑のさなかに開催されるという。本当に大丈夫なのだろうか。(M)